

## 2015年度自然史学会連合総会 議事録

2015年12月19日(土) 13:00-15:00

会場: 東京大学総合研究博物館 ミューズホール

### 1. 代表挨拶(北里)

本年は COP21 があつた。生物多様性や自然災害の問題もある現状で、自然史科学の役割は大きい。そうした中、「オープンサイエンス」に代表される学界内で閉じていた科学をもっと一般社会に開く動きがある。自然史学会連合が監修した子供向け書籍を出版することができたのは、その意味でも大きな成果。こうした活動を続けて行きたい。

### 2. 議長選出

連合より猿渡氏(日本魚類学会)が推薦され、拍手をもって承認された。

### 3. 総会成立の確認 (規定により 39 団体数の 2/3=26 以上で成立)

出席:32 委任状:3 合計=35(成立) (欠席:4)

### 4. 報告事項

#### 1)新加盟団体

日本サンゴ礁学会(学術会議協力学術研究団体)が新たに加盟した。

#### 2)加盟団体の現状 (海部)

2015年12月19日現在(日本サンゴ礁学会の加盟を経て)40学協会。延べ会員数は約41500名

#### 3)運営委員会 (海部)

6回: 2015年2月2日、4月27日、7月6日、10月13日、11月21日、12月19日

【添付資料】議事録

#### 4)博物館部会 (齋木)

5回: 2月2日、4月27日、7月6日、10月13日、12月19日

【添付資料4】活動報告

(友国)メーリングリストには学生などより広い層が参加できるということを考えているか

(齋木)持ち帰って検討したい

#### 5)ホームページ (保坂)

適時更新を行った。(http://wwwsoc.nii.ac.jp/ujsnh/)

※各学協会のイベント企画の宣伝に、連合HPをお使いください。

#### 6)書籍出版 (海部)

多くの会員の皆様にご協力頂いた「理科好きな子に育つふしぎのお話 365」(誠文堂新光社)が2015年2月に刊行された。12月時点で4刷、合計3万部を発行。

#### 7)講演会の開催 (齋木)

【添付資料】平成27年度自然史学会連合講演会

「自然史への招待: 自然を見る目、自然を解き明かす心」

2015年11月22日(日)10:00~16:30 三重県立総合博物館

主催:自然史学会連合・三重県立総合博物館

※チラシ・要旨集(連合HPからダウンロードできます)

※過去 3 年間の試みを継承し、午前に講演会(演者4名)・午後はブース型体験教室「わたしの目で見る自然史」を行った。後者については、三重県立総合博物館のほか運営委員会からの募集に応じた7学会と地元 3 団体がブースを出し、たいへん盛況であった。参加者は講演会 90 名、ブース展示 328 名。

8) その他 (海部)

- ・各種アンケート・メール連絡に適宜対応した:「日本学術会議協力学術研究団体実態調査」(日本学術会議)
- ・生物科学学会連合の定例会に、北里代表がオブザーバーとして参加した(2015.3.7, 10.3)。

5. 審議事項

1) 2014 年度会計決算の報告 (海老原)

【添付資料 6-1】

2) 会計監査報告があり(五百川・山崎)、上の決算が承認された。

3) 2015 年度会計経過報告 (海老原)

【添付資料 6-2】

4) 2016 年度の事業計画の説明 (保坂)。

- ・運営委員会 5回、博物館部会 2回
- ・一般向け講演会: 群馬県立自然史博物館にて開催予定。1月になる可能性がある。(友国)博物館にとって閑散期である1月の開催はメリットが少ないのではないかと。講演会は連合にとって大事な企画であり、再考すべきではないかと。
- (保坂)大学も入試等ある中、デメリットがあることを開催館側に伝える。
- (山崎)ブース出展の補助金は各学協会に1万円で変更ないかと。
- (海老原)予算に余裕があったとしても例えば継続的に2万円至急のようなことは難しい。
- (保坂)参加団体が赤字を出すのは望ましくないので検討を続けたい。

5) 2016 年度予算案説明(海老原)

【添付資料 6-3】

6) 4・5 について承認された。

6. 2016-2017 年度代表選挙

加盟学協会からの立候補・推薦はなし。運営委員会より北里現代表を推薦し、信任投票の結果、賛成35・反対1で、3期目の続投が決まった。

7. 次期運営委員会の体制について

【添付資料】 2015 年度の委員会から海部(事務局担当、人類学会)・西海(鳥類学会)・樽(代表指名)が降板し、2016 年度より猿渡敏郎(魚類学会代表)、濱尾章二(鳥類学会代表)、大路樹生(名古屋大学博物館、代表指名)、が入ることとした。

8. 日本学術会議・動物科学分科会から提案予定の自然史博物館構想について(北里)

自然史学会連合加盟学協会の中で積極的に情報共有していく方針を確認した。